

令和6年



えんだより



中央保育園 西方寺 認定こども園

園長 萩嶺 淳昭

担当 児玉 祐美

今年は、夏から冬への季節の移り変わりが急で、体調を崩してしまう子ども達もいます。また、この季節は流行する病気も増えてきますので、一人一人が「手洗い・うがい」などを心がけて体調管理には十分気をつけていきましょう。

そして、子どもたちそれぞれが自分のペースで大きくたくましく成長してきたこの1年。年内最後のひと月もこれまでと同じく、子どもたちの成長を見守りながら過ごしていきたいと思えます。

今月の目標

にんにくじきゅう

忍辱持久 『教えを知り、みんなで努め励もう(うれしいな)』

クラスの保育・教育目標

サイホージ・トーキョー
ニューヨーク

お遊戯会の練習を通して全員で同じ楽しさを共有する。
合唱や劇、お遊戯を通して、体や言葉で表現する楽しさを感じる。

ロンドン
パリ

お遊戯会の練習に楽しく参加する。
いろいろな遊びを通してお友だちと関わりを持って遊ぶ。

12月8日 <<成道会(じょうどうえ)>>

お釈迦さまが悟りを開いた日で「おさつりの日」とも言います。

お釈迦さまは、本当の道を求めて29歳で出家されます。それから厳しい苦行に身を投じるのですが、それでは何もわからないと思い、一人別の道を求めることにしました。やつれた体を少女から供養された乳で癒し菩提樹の下に座り、瞑想の修行に入りました。瞑想中、お釈迦さまの心の中に色んな悪魔(煩惱)が姿を現し誘惑したり、脅したりしますが、その一つひとつに打ち勝ち本当に大切なことに目覚めます。

それは、『自分一人では生きていけない。あらゆるものは繋がりが合いお互いを支えている。私は大きなつながりの中で生かされている』というものでした。その大いなる気づき、お釈迦さま35歳のお悟りの日を『成道会』と言います。

おたんじょうび おめでとう

<<ニューヨーク>>

2日生まれ はまだ せいなちゃん(4さい)



今年の 子どもたちの様子

令和6年も、今月で終わりです。
月日の経つのは、早いものですね(^^)/
今年も、子ども達、保護者の皆様、私たち職員
たくさんの思い出が出来ました。

サイホージ・トーキョー・ニューヨーク



パリ・ロンドンさん♪



— 冬に気をつけたい感染症 —

冬に流行する感染症がいくつかあります。手洗い・うがいなど、感染症予防を心がけましょう。

RSウイルス	溶連菌感染症	感染性胃腸炎
【症状】 呼吸器の感染症で、2歳以上は軽い咳や鼻水程度しか見られない。	【症状】 発熱、のどの痛み、咽頭炎、扁桃炎を起こす。舌がいちごの様に腫れ、全身に細かく赤い発疹が出る。	【症状】 おもな症状は嘔吐と下痢。冬に多く見られる胃腸炎はウイルス性がほとんど。感染力が強くとウイルスの量が少量でも感染する。
【注意すること】 生後6か月未満の乳児が感染すると、重症な呼吸器症状を生じ、入院が必要となる場合も少なくありません。	【注意すること】 合併症予防のために処方された抗菌薬を、決められた期間服用する。	【注意すること】 脱水にならないように注意する。感染力が強いため、手洗いや嘔吐物の処理を迅速にかつ適切に行う。

《感染症の対策をしよう》

手洗い

帰宅後、トイレの後、食事前には、石けんで洗います。



うがい

帰宅後、食事前などにうがいをします。



換気

時間を決めて、こまめに換気を行います。



加湿

室内が感染しないように加湿器などを使用します。





12月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 YY 指導	5 お遊戯会 リハーサル	6 避難訓練 (通報)	7
8	9	10	11	12	13	14 お遊戯会
15	16	17 不審者訓練	18	19 集会 交通安全	20 誕生会	21
22	23	24	25 もちつき会	26	27 みなよむ号	28 保育納め
29	30	31				

《お知らせ》

- ◆14日(土)は、第48回お遊戯会が、つなぎ文化センターで行われます。これまでの子ども達の練習の成果、成長を楽しみにご家族揃っていらして下さい。
- ◆25日(金)は、「もちつき会」を行いません。
※もちつきにつきましては、後日詳しくお知らせ致します。
- ◆12月28日(土)は、保育納めです。12月30日(月)~1月3日(金)までは、お休みとなります。新年は1月4日(土)より通常保育となりますので、宜しくお願い致します。

おねがい

薄着のメリット



【パリ】

- ・汚れ物を入れるビニール袋を必ず2枚持たせて下さい。

【ロンドン】

- ・子ども達が着脱しやすい洋服を持たせて下さい。

【ニューヨーク】

- ・体調管理のため、ご家庭でも手洗いうがいをお願いします。

【サイホージ】

- ・忘れ物が多くなっています。
帽子、手拭きタオル、汚れ物を入れる袋など、毎日お子様と一緒に確認をして頂けると助かります。

1. 子どもの体温調節機能を育てる

冬に暖房を効かせすぎたり、夏に冷房を効かせすぎたりせず、気温の変化をしっかり体験させながら「自分自身で体温を調節する力」を育てることが大切です。

2. 子どもの身体の動きを活発にする

手足を動かして遊ぶことは、子どもの運動能力はもちろん、知能の発達にもつながります。そのためにも、できるだけ「活発に動きやすい環境」を作ることが大切です。



子どもの体温の変化や個人差に対応することは最も重要！

- * 基本的な枚数は大人より1枚少ない程度
- * 厚着をする時は、着脱しやすい着方をする
- * 肌着は薄くて機能性のあるもの
- * 分厚い上着を1枚着込むより、薄手の洋服を重ね着する方が温度調節がしやすい